キャラクター名
烏丸 琥珀（からすま こはく）

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	33 %
出自	有名人/父親	経験	心の壁/教官	邂逅	主人/霧谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0			3
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4	5	射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

日本刀	
ウェポンケース	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
精鋭	P	N		
霧谷雄吾	P	N		
教官	P	N		
レインボウスネーク	P 同情	N 不安		
八木沢ジェシカ	P 連帯感	N 敵愾心		
水上刹那	P 友情	N 不安		
水城美香	P 庇護	N 疎外感		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-Lv(下限値7)								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：全力移動を行った後に、白兵攻撃を行う。								
吠え猛る爪	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：攻撃力-[5-Lv]で装甲無視攻撃。								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果：判定ダイスを+Lv個。1R1回まで。対象が判定を行う前に使用。								
スピードフォース	1	4	イニシアチブ	至近	自身	自動	ピュアブリード	
効果：イニシアチブプロセスにメインプロセスを行える。1シナリオLv回まで								
獅子奮迅	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果：白兵攻撃の対象を範囲(選択)に変更する。1シナリオにLv回まで。								
軽功	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：なんかすさまじく身軽								
無音の空間	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：自らの気配を消し去る								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

女性が苦手な真面目ポンコツあがり症一人称名前呼びクソピアス
忍者の末裔と噂されている家系で生まれ育つが、家庭環境はあまりよくなかった。
父はシノビ云々の界隈ではかなり有名な人らしいが、常にどこかへ行っており、琥珀本人は顔などほぼ覚えていない。
また母からはネグレクト気味に育てられ、幼いころからUGNにほぼ預けられている。
UGNでは女性教官に無茶を言われたり、女性のチルドレンになんかひどい事されたりと、
とにかく女難が続き…いつしか女性を見ると苦手意識と共に恐怖がこみあげてしまうようになる。
若干グレ気味にストレスを溜めつつ、琥珀なりに頑張ってきた。
が、それでも寂しさだとか漠然とした恐怖だとかで1人の時にぐずっていたせいか、割とすぐ泣く癖がつく。

だがある日泣いていた琥珀を、抱きしめ慰めてくれた大人がいた。
次の仕事に明らかに遅刻しているというのに、自分の背中をポンポンと優しく叩く彼の手はとても温かかった。
霧谷雄吾…彼のような大人になりたいと、生真面目に剣の腕を磨き、UGN…と言うよりは霧谷さんに忠誠を誓う。
が、基本女性を見ると逃げそうになるので、精神面から強化した方が良いよね。と彼の目標を知っている人は少なからず思っている。

白兵
▼PC2　シナリオロイス：レインボウスネーク　ワークス指定：UGNチルドレン　推奨感情：同情/不安
　キミはUGNチルドレンとして活動し、FHの研究施設に乗り込み、FHエージェント「レインボウスネーク」と対峙する事となった。
　FH研究施設で対峙した時、彼女は君と戦わず、その場から去っていた。　助けを求めているように。